

第 69 期 業務のご報告

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日



田上町「護摩堂山のあじさい」

 加茂信用金庫



ごあいさつ



さわやかな初夏の候となりましたが、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、加茂信用金庫に対し、格別なご支援、ご愛顧を賜り、心から厚く御礼申し上げます。ここに第69期の業務報告と決算についてご報告いたします。

わが国経済は、資源価格の高騰や円安を背景とした物価上昇に加え、ウクライナ情勢をはじめとする国内外のリスク要因により、その先行きは、極めて不確実性の高い状況となっております。

特に、信用金庫の営業基盤である地域経済は、人口減少や高齢化の進展といった従来からの構造的な問題も相まって、一層厳しさが増しております。

こうしたなか、地域経済がこの局面を克服し、将来にわたって発展を続けていくためには、地域特色に応じた付加価値の向上や持続可能性を高める取組みを加速させ、経済活動を変革していくことが不可欠となっております。地域経済社会が大きな岐路に直面する今、信用金庫に寄せられる期待や、信用金庫が果たすべき役割は、未だかつてないほどに大きくなっております。

業績につきましては、加茂市の指定金融機関の交替による公金預金の減少により、預金の期末残高は81,206百万円で前期比2,916百万円の減少となり、期中平均残高も83,861百万円で前期比1,892百万円の減少となりました。

貸出金は、公金貸出の返済などにより期末残高は34,935百万円で前期比1,198百万円の減少となり、期中平均残高は35,736百万円で前期比1,278百万円の減少となりました。

収益状況につきましては、収入面では、年度当初からの有価証券運用の強化により有価証券利息配当金は増加しましたが、貸出金利息は不良債権の回収が減少したことにより、業務収益は前期比24百万円減少しました。支出面

では、一般貸倒引当金戻入益と経費の抑制により業務費用を前期比12百万円削減できたことから、本業の儲けを表す業務純益は135百万円、コア業務純益は97百万円を計上することができました。

臨時費用では、コロナ禍での取引先の信用力低下などによる信用コストの積み増しを実施し、経常利益は43百万円、当期純利益は42百万円の計上となりました。

また、自己資本比率は、前期比0.54%上昇し13.85%となりました。

日本経済を取り巻く環境は不確実性を増しておりますが、経済情勢の激しい動きに取引先中小企業が翻弄されることがないよう、信用金庫は今後も変わらずその資金繰りを支え、ウィズコロナの時代を生き抜くための事業継続・事業再構築・収益力改善などに関する課題解決を図っていくことが求められております。

また、「マネー・ロンダリングおよびテロ資金供与対策」や「サイバー攻撃に対するセキュリティ強化」などを通じた経営管理態勢の充実・強化を重要な経営課題と位置付け、一層の取組み強化を図っていく必要があります。

当金庫が地域からの期待に応え、地域とともに発展を続けるためには、著しい環境の変化に適応した強固なビジネスモデルの構築に取り組んでいくことが必要であり、お客様とともにこの難局を乗り越えるため、既存の枠組みに囚われることなく、常に一步先を見据えて社会の変容に対応し、不転換の覚悟とチャレンジ精神のもと、全力で努力を重ねる所存でございますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年6月

理事長

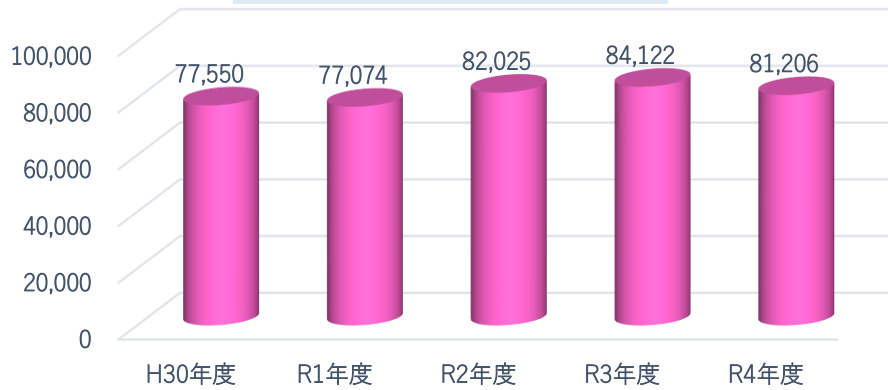
杵鞭 久



事業成績の推移

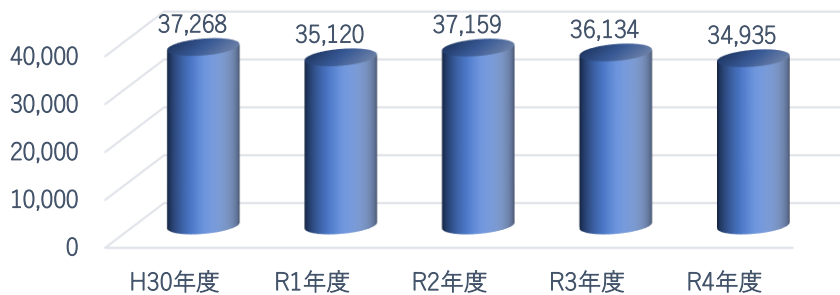
預金・積金残高の推移

[単位：百万円]



貸出金残高の推移

[単位：百万円]



会員数・出資金の推移

会員数 [人]

出資金 [百万円]



自己資本比率

当期の自己資本比率は、**13.85%** です。(前期は13.31%)



貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

[単位：百万円]

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
現 金	998
預 け 金	17,466
有 価 証 券	29,731
国 債	2,190
地 方 債	5,842
社 債	11,739
株 式	270
そ の 他 の 証 券	9,688
貸 出 金	34,935
割 引 手 形	254
手 形 貸 付	1,230
証 書 貸 付	30,419
当 座 貸 越	3,031
そ の 他 資 産	512
未 決 済 為 替 貸	4
信 金 中 金 出 資 金	376
前 払 費 用	3
未 収 収 益	70
そ の 他 の 資 産	58
有 形 固 定 資 産	574
建 物	89
土 地	423
リ ー ス 資 産	39
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	21
無 形 固 定 資 産	9
ソ フ ト ウ ェ ア	0
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8
前 払 年 金 費 用	0
債 務 保 証 見 返	15
貸 倒 引 当 金	△ 302
(うち個別貸倒引当金)	(△ 286)
資 産 の 部 合 計	83,942

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
預 金 積 金	81,206
当 座 預 金	920
普 通 預 金	30,040
貯 蓄 預 金	183
通 知 預 金	56
定 期 預 金	45,550
定 期 積 金	3,452
そ の 他 の 預 金	1,002
そ の 他 負 債	158
未 決 済 為 替 借	27
未 払 費 用	38
給 付 補 填 備 金	0
未 払 法 人 税 等	0
前 受 収 益	19
リ ー ス 債 務	43
資 産 除 去 債 務	5
そ の 他 の 負 債	22
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	14
偶 発 損 失 引 当 金	2
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
債 務 保 証	15
負 債 の 部 合 計	81,399
(純 資 産 の 部)	
出 資 金	313
普 通 出 資 金	313
利 益 剰 余 金	3,399
利 益 準 備 金	312
そ の 他 利 益 剰 余 金	3,086
特 別 積 立 金	3,000
当 期 未 処 分 剰 余 金	86
会 員 勘 定 合 計	3,712
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,169
純 資 産 の 部 合 計	2,542
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	83,942

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

[単位：千円]

科 目	金 額
経 常 収 益	1,046,717
資 金 運 用 収 益	913,142
貸 出 金 利 息	584,712
預 け 金 利 息	22,294
有 価 証 券 利 息 配 当 金	296,796
そ の 他 の 受 入 利 息	9,339
役 務 取 引 等 収 益	58,190
受 入 為 替 手 数 料	23,992
そ の 他 の 役 務 収 益	34,198
そ の 他 業 務 収 益	34,799
国 債 等 債 券 売 却 益	30,721
そ の 他 の 業 務 収 益	4,077
そ の 他 経 常 収 益	40,585
償 却 債 権 取 立 益	791
株 式 等 売 却 益	39,487
そ の 他 の 経 常 収 益	306
経 常 費 用	1,002,872
資 金 調 達 費 用	14,316
預 金 利 息	14,001
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	314
役 務 取 引 等 費 用	88,744
支 払 為 替 手 数 料	7,569
そ の 他 の 役 務 費 用	81,175
そ の 他 業 務 費 用	23,753
国 債 等 債 券 売 却 損	185
国 債 等 債 券 償 還 損	23,560
そ の 他 の 業 務 費 用	8
経 費	781,550
人 件 費	527,562
物 件 費	225,456
税 金	28,531
そ の 他 経 常 費 用	94,507
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	59,032
貸 出 金 償 却	2,105
株 式 等 売 却 損	32,481
そ の 他 の 経 常 費 用	888
経 常 利 益	43,844
特 別 損 失	0
固 定 資 産 処 分 損	0
税 引 前 当 期 純 利 益	43,844
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	930
法 人 税 等 合 計	930
当 期 純 利 益	42,914
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	43,892
当 期 未 処 分 剰 余 金	86,807

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

[単位：円]

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	86,807,408
繰越金（当期首残高）	43,892,745
当 期 純 利 益	42,914,663
これを次のとおり処分する	
剰 余 金 処 分 額	6,791,405
利 益 準 備 金	535,000
普通出資に対する配当金 （普通配当 年2%の割合）	6,256,405
繰 越 金 （ 当 期 末 残 高 ）	80,016,003

以上のとおり報告いたします。

令和5年6月16日

加茂信用金庫

理 事 長	杵 鞭 久
常 務 理 事	田 邊 和 之
常 勤 理 事	福 原 一 芳
理 事	坂 上 通 男
理 事	阿 部 一 郎
理 事	樋 口 俊

以上、監査の結果、正確であることを認めます。

常 勤 監 事	阿 部 貴 行
監 事	高 橋 利 明
監事（員外監事）	弦 巻 博 行